



## 2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年2月5日

上場会社名 日本紙パルプ商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8032 URL <https://www.kamipa.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 昭彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部本部長 (氏名) 武井 康志 (TEL) 03(3534)8522  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日~2018年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	405,536	4.5	8,882	25.8	9,013	26.9	5,318	14.2
2018年3月期第3四半期	388,216	9.7	7,059	16.0	7,105	9.1	4,655	△2.2

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 2,351百万円(△77.2%) 2018年3月期第3四半期 10,329百万円(116.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	377.32	375.16
2018年3月期第3四半期	319.36	317.57

※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	346,344	95,378	25.1
2018年3月期	337,323	94,735	25.8

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 86,907百万円 2018年3月期 86,967百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	5.00	—	50.00	—
2019年3月期	—	55.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2018年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」と記載しております。株式併合後の基準で換算した2018年3月期の1株当たり年間配当金は100円00銭となります。

## 3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日~2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	560,000	7.4	12,000	18.5	11,500	15.0	5,700	△8.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	15,021,551株	2018年3月期	15,021,551株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	928,257株	2018年3月期	928,241株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	14,093,564株	2018年3月期3Q	14,576,484株

※2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、輸出が弱含んでいるものの、引き続き雇用環境が改善していることに起因して個人消費が持ち直しており、また企業収益の改善や、成長分野への対応等による設備投資の増加などにより、全体として回復基調が継続しています。世界経済は、米国や欧州ユーロ圏などの先進国経済は底堅く推移しておりますが、中国を含むアジア・新興国では米中貿易摩擦の影響により成長のスピードが大きく減速しています。足元では、米国での企業業績の悪化、不透明な英国のEU離脱問題による混乱など、経済の下押し要因が顕在化しており、今後の懸念される所です。

紙パルプ業界におきましては、加工食品・飲料用など生活必需品や、伸長著しいネット通販向け梱包用の段ボール原紙及び衛生用紙出荷が堅調でしたが、電子媒体へのシフトなどの要因から印刷情報用紙の需要減退が続いたため、当第3四半期連結累計期間における紙・板紙の内需は前年を下回る結果となりました。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高405,536百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益8,882百万円（同25.8%増）、経常利益9,013百万円（同26.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,318百万円（同14.2%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績をセグメント別にみると次のとおりです。

## 「国内卸売」

板紙においては昨年11月に価格修正を実施し、堅実な実需に支えられ販売が好調であったものの、紙の販売においては自然災害などの影響から供給が絞られたことなどにより、売上高は前年同期比0.5%減の219,231百万円となりました。また経常利益は、紙の販売減少に加え、子会社における減価償却費の増加等により6.4%減の3,696百万円となりました。

## 「海外卸売」

前第2四半期末に連結の範囲に加わった Ball & Doggett グループの業績が期首から反映されていることや、紙・板紙共に本邦からの輸出が引続き好調に推移したことにより、売上高は前年同期比17.0%増の136,725百万円となりました。経常利益は、各海外拠点の収益が改善したこと及び昨年は Ball & Doggett グループ買収に係る一時費用の計上があったことなどから、146.5%増の2,177百万円となりました。

## 「製紙及び加工」

売上高は、板紙製造事業における段ボール原紙の価格修正の実施により前年同期比5.8%増の18,655百万円となりました。また経常利益は、板紙製造事業における原料古紙の調達価格が秋以降上昇したものの、11月に実施した段ボール原紙価格修正が寄与したことにより57.0%増の3,314百万円となりました。

## 「資源及び環境」

当第3四半期連結会計期間においては、中国向け古紙の年末需要が高まり古紙価格が急上昇したことにより収益は改善しておりますが、当第3四半期連結累計期間全般においては中国における廃棄物輸入規制の影響により、売上高は前年同期比9.3%減の28,419百万円、経常利益は29.2%減の1,261百万円となりました。

## 「不動産賃貸」

高稼働が継続している既存テナントビルに加え、昨年6月30日に竣工しましたオフィス・ホテル・商

業店舗からなる複合施設OVOL日本橋ビルの稼働に伴い、売上高は前年同期比18.3%増の2,506百万円となりました。しかしながら、OVOL日本橋ビルのオフィステナントの賃料収入は入居時期に応じて第3四半期以降より順次発生するため、当第3四半期連結累計期間においては減価償却費や不動産管理費等の費用が先行し、経常利益は42.3%減の267百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権の増加、OVOL日本橋ビル竣工に伴う有形固定資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて9,021百万円増加し、346,344百万円となりました。

総負債は仕入債務及び有利子負債の増加等により前連結会計年度末に比べて8,379百万円増加し、250,966百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加、剰余金の配当、その他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べて642百万円増加し、95,378百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月21日に公表いたしました連結業績予想数値の修正はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,837	7,644
受取手形及び売掛金	139,731	146,591
たな卸資産	36,250	35,665
その他	4,055	4,228
貸倒引当金	△1,413	△1,099
流動資産合計	185,461	193,029
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	34,282	47,042
土地	32,080	31,704
その他（純額）	34,945	28,888
有形固定資産合計	101,307	107,634
無形固定資産		
のれん	3,798	3,706
その他	1,987	1,972
無形固定資産合計	5,785	5,678
投資その他の資産		
投資有価証券	38,185	33,093
その他	9,692	9,782
貸倒引当金	△3,164	△2,917
投資その他の資産合計	44,714	39,959
固定資産合計	151,806	153,270
繰延資産	56	44
資産合計	337,323	346,344

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	100,012	104,061
短期借入金	43,697	44,444
1年内返済予定の長期借入金	11,142	5,161
コマーシャル・ペーパー	22,000	15,000
未払法人税等	1,514	1,660
引当金	1,936	958
その他	10,484	12,100
流動負債合計	190,784	183,383
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	21,341	36,558
引当金	848	944
退職給付に係る負債	4,725	4,778
その他	4,888	5,303
固定負債合計	51,803	67,583
負債合計	242,587	250,966
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	16,649	16,649
資本剰余金	15,200	15,258
利益剰余金	48,503	52,324
自己株式	△3,623	△3,624
株主資本合計	76,729	80,607
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,964	6,418
繰延ヘッジ損益	△3	3
為替換算調整勘定	1,195	611
退職給付に係る調整累計額	△918	△732
その他の包括利益累計額合計	10,238	6,300
新株予約権	217	217
非支配株主持分	7,551	8,253
純資産合計	94,735	95,378
負債純資産合計	337,323	346,344

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	388,216	405,536
売上原価	344,854	357,112
売上総利益	43,362	48,424
販売費及び一般管理費	36,302	39,543
営業利益	7,059	8,882
営業外収益		
受取利息	49	46
受取配当金	607	559
持分法による投資利益	281	341
その他	382	694
営業外収益合計	1,319	1,641
営業外費用		
支払利息	1,139	1,391
その他	134	119
営業外費用合計	1,274	1,510
経常利益	7,105	9,013
特別利益		
負ののれん発生益	492	651
投資有価証券売却益	76	278
固定資産売却益	833	170
投資有価証券清算益	-	51
固定資産受贈益	-	38
特別利益合計	1,401	1,188
特別損失		
年金基金脱退損失	-	416
投資有価証券評価損	-	241
投資有価証券売却損	4	25
固定資産処分損	202	24
関係会社整理損	433	-
その他	4	2
特別損失合計	643	708
税金等調整前四半期純利益	7,862	9,493
法人税、住民税及び事業税	2,255	2,852
法人税等調整額	179	125
法人税等合計	2,434	2,977
四半期純利益	5,428	6,516
非支配株主に帰属する四半期純利益	773	1,198
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,655	5,318

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	5,428	6,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,923	△3,136
繰延ヘッジ損益	2	6
為替換算調整勘定	295	△779
退職給付に係る調整額	93	186
持分法適用会社に対する持分相当額	589	△442
その他の包括利益合計	4,901	△4,165
四半期包括利益	10,329	2,351
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,640	1,379
非支配株主に係る四半期包括利益	689	971

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、当第3四半期連結会計期間より、Spicers Paper (Singapore) Pte Ltd及びSpicers Paper (Malaysia) Sdn Bhdを、当社による株式取得のため連結の範囲に含めており、当第3四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結しております。

(追加情報)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

## 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙及び 加工 (百万円)	資源及び 環境 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	220,300	116,820	17,633	31,345	2,118	388,216	—	388,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,710	200	18,975	6,208	86	32,179	△32,179	—
計	227,009	117,020	36,607	37,553	2,204	420,395	△32,179	388,216
セグメント利益 又は損失(△)	3,949	883	2,111	1,780	463	9,187	△2,082	7,105

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△919百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	国内卸売 (百万円)	海外卸売 (百万円)	製紙及び 加工 (百万円)	資源及び 環境 (百万円)	不動産賃貸 (百万円)			
売上高								
外部顧客への売上高	219,231	136,725	18,655	28,419	2,506	405,536	—	405,536
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,298	175	19,492	6,093	94	32,152	△32,152	—
計	225,530	136,900	38,147	34,513	2,600	437,689	△32,152	405,536
セグメント利益 又は損失(△)	3,696	2,177	3,314	1,261	267	10,715	△1,702	9,013

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社部門の損益△599百万円が含まれております。全社部門の損益は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益、営業外費用の純額であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結会計期間において Spicers Paper (Malaysia) Sdn Bhd を連結子会社としたことに伴い、「海外卸売」セグメントにおいて、負ののれん発生益 651 百万円を計上しております。なお、負ののれん発生益は特別利益のため、セグメント利益には含めておりません。